

鹿高防災だより

特集 水害・雷から身を守る

■集中豪雨や台風によって起こる災害

- 土砂災害（土石流・崖崩れ）
- 浸水害（排水が追い付かず氾濫・冠水）
- 洪水災害（堤防決壊・河川氾濫）
- 暴風・高潮・高波による災害
- 落雷



■日頃の備え

防災情報の収集

- 気象庁が発表する土砂災害警戒情報や氾濫危険情報等

▼あなたの街の防災情報



▼キキクル

▼雷ナウキャスト

特に屋外での活動の際は必ず「雷ナウキャスト」を活用し、安全を確保すること！！

- 市町村が発令する避難情報等

▼防災情報くまもと



※更新のため接続できないことがあります。
※iPhoneのSafariで開けない場合は、URLをコピーしてChrome等で開いて下さい。

令和7年度第1号 水害・雷編
防災主任 池邊えり

地域の危険箇所や避難経路の確認

○防災マップ等で、自宅～学校周辺の危険箇所や避難経路を把握・確認！！

▼やまがデジタルマップ



■雨がひどくなりそうなときは…早めの予防的避難が◎

○夜間や大雨時は、避難そのものが危険。大雨が予想される場合は、本格的に雨が降り出す前、明るい時間帯での予防的避難を！！

○大雨や台風に備えて、

- 5段階の警戒レベル(本紙裏面参照)に応じた避難開始のタイミングや避難行動をまとめる
- 「マイタイムライン」を作成しておきましょう。

▼くまもとマイタイムライン



避難するときの注意点

1. 安全で動きやすい服装

※ 長靴は水が溜まると動きにくくなるので厳禁！！

2. 足元に注意

※ 歩行可能な水深は、一般的に成人男性 70 cm、女性 50 cm。

流れがある場合はより浅くても転倒します。

※ マンホール、側溝などに注意！！

3. 隣近所で声をかけ合って避難

4. 病院や高齢者は背負って避難

5. 子どもは大人が手をつなぐ、ライフジャケットを着用させるなどして守る。



※避難自体が危険な場合は、建物の2階など、できるだけ安全なところに避難！！

出典：熊本県 熊本防災 ウェブサイト

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/data/public/handbook/saigai02.html>

■ 5段階の警戒レベルを活用しましょう

| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 | 行動を促す情報 | 防災気象情報 (警戒レベル相当) |
|-----------------|--------------|---|------------------------------------|--|
| 5 | 災害発生 又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保! | 緊急安全確保 ^{※1} (市町村発令) | 大雨特別警報 氾濫発生情報 [暴風特別警報 ^{※2}] |
| ～警戒レベル4までに必ず避難～ | | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から全員避難 | 避難指示 (市町村発令) | 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報・特別警報 |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から高齢者等は避難 ・避難に時間がかかる要配慮者（高齢者・障がい者・乳幼児等）とその支援者は避難 ・高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難 | 高齢者等避難 (市町村発令) | 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報 高潮注意報 [暴風警報 ^{※2}] |
| 2 | 気象状況悪化 | 自分の避難行動を確認 | 大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報 (気象庁発表) | 氾濫注意情報 [強風注意報 ^{※2}] |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める | 早期注意情報 <警報級の可能性> (気象庁発表) | |

(令和3年3月、内閣府から国会に提出された「災害対策基本法等の一部を改正する法律案」等に基づき、熊本県が作成)

※1 レベル5は市町村が災害の状況を確実に把握できるわけではないことから、必ず発令されるものではありません。

※2 暴風特別警報、暴風警報、強風注意報については、参考として記載しています。

○「警戒レベル」・・・水害や土砂災害に備えて住民がとるべき行動を示すため、市町村が発令する避難情報等や、気象庁等が発表する防災気象情報等の防災情報を、5段階に分けたもの。

警戒レベルに応じた行動を、普段から確認しておきましょう。

○市町村が配布・HP掲載している
防災マップ(ハザードマップ)を活用して、
自宅の災害リスクを確認し、
避難場所・経路を決めておきましょう。

＜5段階の警戒レベルと避難行動の関係＞

○市町村から
警戒レベル4「避難指示」
警戒レベル3「高齢者等避難」
が発令された場合は、
「住民がとるべき行動」
に基づき、必要な避難行動をとりましょう。

○「避難指示」や「高齢者等避難」
が発令されていなくても、発表されている
防災気象情報がどの警戒レベルに相当するのか確認し、自ら避難の判断をしましょ。

○明るいうちからの予防的避難を心がけましょう。

○雷には「注意報」しかなく、危険度が段階的に変わるわけではないので「注意報」の有無で判断しましょう。